

# 政治とは何か

『政(まじりごと)の哲学』  
藤井聡著

京都大学大学院教授で、安倍晋三内閣の内閣官房参与となった著者が政治とは何かを改めて世に問う1冊。

哲学というと、なにやら難しいことを語っているようだが、著者によれば「メチャクチャに『簡単』なもの」だという。ギリシャ時代には哲学は「語る」ものであり、

「対話する」ものだった。この本も対話形式でやさしく「哲学」している。テーマは「政治」だ。



古代ギリシャのソクラテス、プラトンから近代日本の夜明けを開いた福沢諭吉まで、政治と哲学は切り離せないものだったという。政治の哲学を日本国民に知らしめようと書かれたのが「学問のすすめ」。「一身独立して、

一国独立す」は国民一人一人が1人で歩けるように独立できれば、その国はどんな強い外敵をもはね返して独立を保てるということ。政治も日本もメチャクチャ

になりつつある今、「自分の頭で考える」ためにも、この対話に耳を傾ける価値がある。

青林堂・1500円＋税